

# BUSINESS REPORT 2017

平成29年3月期 中間報告書  
[平成28年4月1日～平成28年9月30日]

The logo consists of the letters 'YSK' in a bold, sans-serif font. Each letter is filled with horizontal blue stripes.

烧津水産化学工業株式会社

天然素材の  
フィールドで、  
“おいしさと健康”を  
追求します。

代表取締役社長

山田 潤



株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第58期中間期(平成28年4月1日～平成28年9月30日)の事業の概況、業績等につきましてご報告申し上げます。

## 上半期の業績

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)のわが国経済を取り巻く環境は、政府の経済制作を背景に、雇用・所得環境等の改善がみられ、緩やかな景気回復基調が続いておりますが、中国をはじめとするアジア新興国等の景気の下振れ懸念や英国のEU離脱問題、為替の動向など、実態経済の先行きは依然として不透明な状態となっております。

食品業界におきましては、消費者マインドは持ち直しの動きがみられるものの、依然として厳しい収益環境が続いております。

このような中、当社グループでは、新中期経営計画「YSK Priority」の初年度にあたり、これまで取り組んできた事業構造改革により“強み分野へ集中”できる体制を土台として、“水産系天然素材メーカー No.1”を目指した取り組みを進めております。

具体的には、3つの柱、i. 収益基盤の確立、ii. 新規事業領域の拡大、iii. 人・組織機能の強化を掲げ、既存事業では当社グ

ループの強みである水産系の天然素材を原料とした調味料、機能性食品素材に集中しつつ、ASEAN地域を中心とした日本品質に対する需要やローカルニーズの取り込みにより、販路拡大を図るべく仕掛けを進めております。また、「淡色調味液シリーズ(鰹節、昆布、煮干)」や「CVDチップシリーズ」の販売を開始するなど、顧客ニーズに応えた製品の開発、研究にも取り組んでおります。さらに、製造面では、掛川工場をより一層の“食の安全・安心”を提供できる主要拠点へと進化させるべく、さらなる安定品質・安定稼働を確保する仕組みの構築に取り組んでおります。

連結売上高につきましては、前期に実施した医療栄養食事業の撤退や工場閉鎖及び低採算品の見直しなどの事業構造改革並びに大連味思開生物技術有限公司の出資持分の全部譲渡による連結除外に伴い大幅減収の77億75百万円(前年同期比19億22百万円、19.8%減)となりましたが、利益面につきましては収益性が改善し、連結営業利益は4億37百万円(同1億73百万円、65.4%増)となりました。連結経常利益は、賃貸資産の増加に伴い減価償却費、受取賃貸料が増加したほか、前期の投資有価証券売却に伴う受取配当金の減少、前期の為替差益が差損に転じたことから営業外費用が営業外収益を上回りましたが、営業利益が前年同期比で増益となったことから4億37百万円(同1億40百万円、47.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億96百万円(同1億円、51.6%増)となりました。

## 株主の皆さまへのメッセージ

当期の中間配当については、前期の中間配当と同じく1株当たり10円とさせていただきます。期末配当については1株当たり14円(中間と合せて24円)を予定しております。

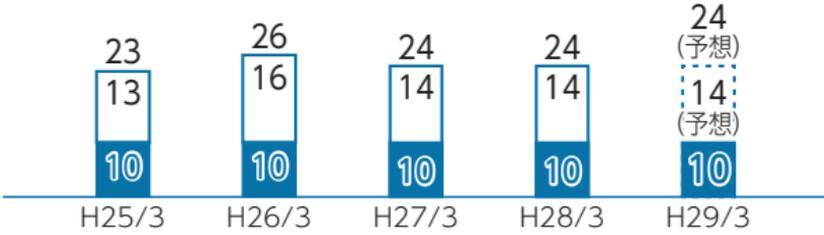
当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、引き続きグループの力を集結して持続的な成長を実現し、株主価値の向上に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ● 配当金推移 ●

(単位：円)

■ 第2四半期 □ 期末



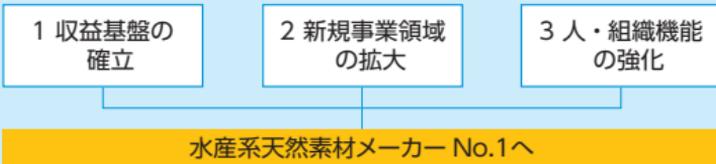
## 中期経営計画

# YSK Priority (YSKプライオリティ)

当社グループの平成29年3月期～平成31年3月期の中期経営計画スローガンは「YSK Priority」です。「強み分野への集中」を徹底し、水産系天然素材メーカー No.1を目指します。

### 「YSK Priority」の基本方針

3つの柱に経営資源(人・物・金)を集中投入し、成長戦略を描く



### 重点施策

1. 事業構造改革の実施により、水産系天然素材を原料とした製品に集中。営業力の強化を図り、強固な収益基盤の確立を目指す。
2. 経営資源をASEAN地域へ集中投下、拠点開設に向けたステップに移行。B to C事業の効率的な広告宣伝の実施。
3. グループ全体が有機的に行動できる環境整備のため、人事育成プログラムを構築。

### 「YSK Priority」の定量目標

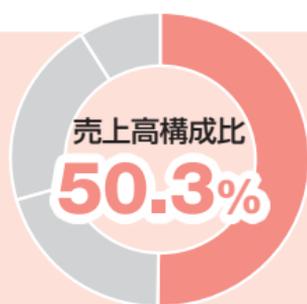
最終連結業績の目標値を以下の数値に設定いたしました。

(単位：百万円)

	平成28年3月期 (実績)	平成31年3月期 (計画)	差異
連結売上高	18,583	17,000	-1,583
連結営業利益	666	1,200	+533

## セグメント情報

天然調味料の製造 香辛料の製造  
調味料の受託加工



# 調味料

売上高 **39億 10百万円** (前年同期比 **11.8%減**)

セグメント利益 **4億 14百万円** (前年同期比 **17.0%増**)

大連味思開生物技術有限公司の連結除外などにより減収となったものの、製品価格の値上げ及び低採算品の見直しなどにより収益性が改善し、減収増益となりました。

### 天然調味料

カツオエキス 昆布エキス ホタテエキス  
カニエキス オイスターエキス etc.

水産物の問屋業 倉庫業

水産物の加工



# 水産物

売上高 **16億 9百万円** (前年同期比 **15.1%減**)

セグメント利益 **3百万円** (前年同期 **△0百万円**)

海外向け販売が減少したものの、一般管理費の削減により減収増益となりました。

※ 上記における各分野のセグメント利益は配賦不能費用(2億99百万円)

※ 前連結会計年度の第4四半期より、報告セグメント別の経営成績をよります。このため、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更

機能性食品素材の製造 健康食品の通信販売

機能食品の受託加工



# 機能食品

売上高

**15億 75百万円** (前年同期比 **42.7%減**)

セグメント利益

**2億 94百万円** (前年同期比 **8.8%増**)

医療栄養食事業撤退によって大幅減収となったものの、医療栄養食事業撤退によるコスト負担の減少により収益性が改善し、減収増益となりました。

## 機能性素材

N-アセチルグルコサミン アンセリン  
マリンコラーゲン フコイダン コンドロイチン硫酸 etc.

その他商品

化粧品通販事業

# その他



売上高

**6億 79百万円** (前年同期比 **9.2%増**)

セグメント利益

**25百万円** (前年同期 **△39百万円**)

売上が堅調に推移し、増収増益となりました。

控除前のものです。

適切に反映させるため、販売費及び一般管理費の配賦方法を変更して以後の利益又は損失の算定方法により作成しております。

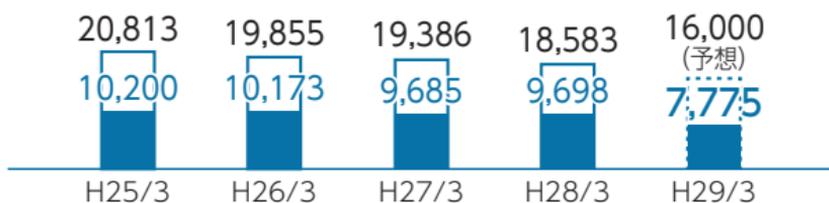
# 決算ハイライト

## Financial Highlights

### ● 連結売上高 ●

(単位：百万円)

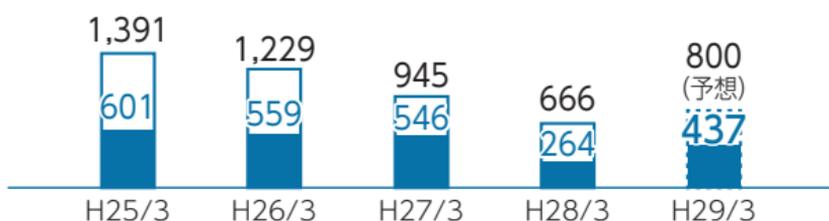
■ 第2四半期 □ 通期



### ● 連結営業利益 ●

(単位：百万円)

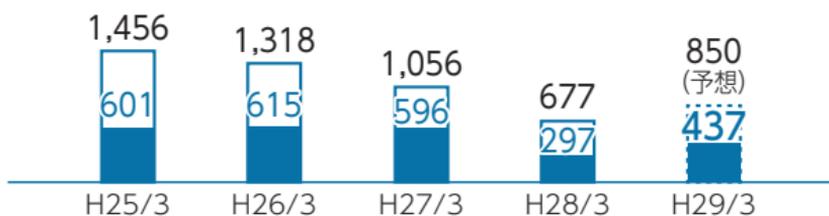
■ 第2四半期 □ 通期



### ● 連結経常利益 ●

(単位：百万円)

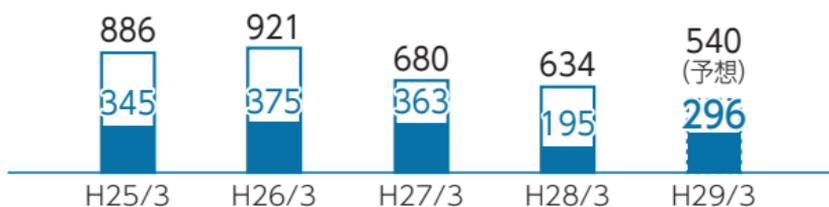
■ 第2四半期 □ 通期



### ● 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 ●

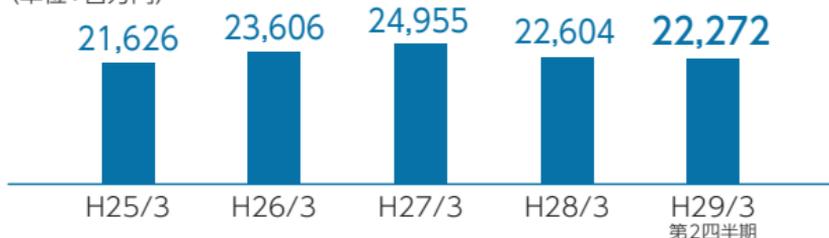
(単位：百万円)

■ 第2四半期 □ 通期



### ● 連結総資産 ●

(単位：百万円)



### ● 連結純資産／連結自己資本比率 ●

(単位：百万円)

■ 連結純資産 ● 連結自己資本比率 (単位：%)



# トピックス

## 紅茶成分「テアフラビン」を ウイルス感染予防製品へ販売強化!

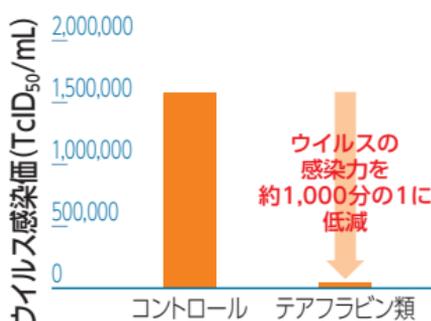
テアフラビンには、かねてよりインフルエンザウイルス不活性化作用が知られていましたが、このたび、静岡県ファルマバレープロジェクト\*により、ノロウイルスに対しても感染抑制作用を持つことが明らかとなりました。

現在推奨されている感染予防処理は、次亜塩素酸ナトリウムや加熱によるもので、手指など人体には使用できません。対して、テアフラビン類は、食品素材由来のため、ハンドソープや不織布、のど飴などとして

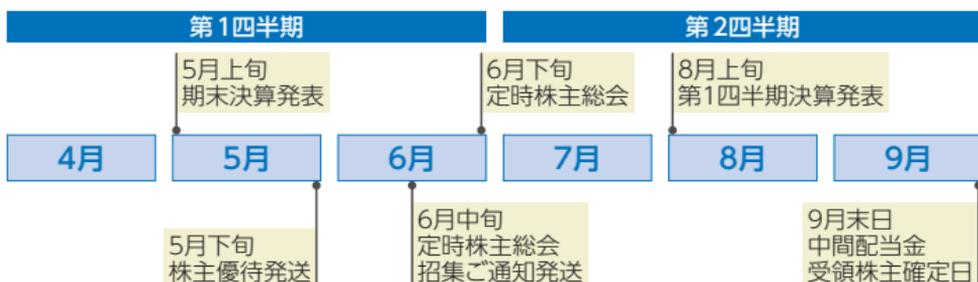
人体に直接塗布および食することが可能です。小さなお子さまからご高齢の方まで安心・安全に使用していただける抗菌・抗ウイルス作用衛生用品への幅広い展開を行い、3年後には年間3,000万円の売上を目標としております。

なお、テアフラビン類のノロウイルスに対する作用について、研究結果は科学誌「The Journal of Antibiotics」に掲載されることが静岡県環境衛生科学研究所の記者会見で発表されました。特許に関しては、当社が一般社団法人ファルマバレープロジェクト支援機構と共同で特許出願しており、同時に本発明を優先的に実施する権利を取得しています。

※ ファルマバレープロジェクト(富士山麓先端健康産業集積プロジェクト)とは、静岡県が県東部を中心に医療健康産業クラスターの形成を目指し、推進しているものです。(公財)静岡県産業振興財団ファルマバレーセンター・(一社)ファルマバレープロジェクト支援機構は、このプロジェクトの中核支援機関です。



## IRカレンダー



## 淡い色調が特徴の「淡色調味液シリーズ」発売

平成28年9月26日に「淡色調味液シリーズ」の販売を開始しました。

今回販売を開始しました「淡色調味液シリーズ」では「色」に特徴を持たせています。すまし汁や茶わん蒸し

などの色の淡い最終製品の製造には、その外観色に影響を与えないよう、色の淡い調味料が好まれる傾向にあります。そのようなニーズにお応えし、同シリーズでは、従来品の最大1/8\*に色調を抑えました。色調は最も淡色でありながら(当社比)、もちろん旨みもしっかりと表現しています。

※ 経節エキスで比較。製品により色調の差は異なります。



色調の比較(左 従来品、右 淡色経節調味液)

## ご注意ください！ 株主優待制度について

当社の株主優待の贈呈には株主優待の権利確定日時点で**同一株主番号で1年以上継続保有\***していることが条件となっています。

※ 1年以上継続保有とは、3回以上の連続した株主名簿への記載が必要です(下図参考)。

例：来年度株主優待の贈呈対象の条件



相続による名義変更、期間内に全株の売却および買戻しを行われた場合、貸株サービスをご利用の場合などは継続保有とならない場合がございますので、ご注意ください。ようお願い申し上げます。

なお、株主番号の変更の有無につきましては、株式をご購入いただきました証券会社にお問い合わせ下さい。

## IRCalendar

### 第3四半期

11月上旬  
第2四半期決算発表

10月

11月

12月

### 第4四半期

2月上旬  
第3四半期決算発表

1月

2月

3月

3月末日  
決算日、期末配当  
受領株主確定日

# 連結財務データ

# Consolidated Financial Data

## 連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	前期末 (平成28年3月31日)	当第2四半期末 (平成28年9月30日)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	13,580	13,305
固定資産	9,024	8,967
資産合計	22,604	22,272
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	3,737	3,126
固定負債	203	249
負債合計	3,941	3,376
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	18,234	18,357
その他の包括利益累計額	428	539
新株予約権	0	—
純資産合計	18,663	18,896
負債・純資産合計	22,604	22,272

## 連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	当第2四半期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
売上高	9,698	7,775
売上総利益	1,909	1,873
営業利益	264	437
経常利益	297	437
税金等調整前四半期純利益	297	437
四半期純利益	195	296
親会社株主に帰属する四半期純利益	195	296

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	当第2四半期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 95	560
投資活動によるキャッシュ・フロー	143	47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 243	△ 732
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△ 22
現金及び現金同等物の増加額(減少額△)	△ 192	△ 147
現金及び現金同等物の期首残高	4,250	6,236
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,057	6,088

## 会社概要(平成28年9月30日現在)

商号	焼津水産化学工業株式会社
事業内容	天然調味料及び機能食品の製造販売
資本金	36億1,764万円
創業年月日	昭和34年5月15日
取引銀行	静岡銀行 / 三井住友信託銀行
事業所	
静岡本部	〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町11番1号 静銀・中京銀静岡駅南ビル6F TEL.054-202-6030 FAX.054-202-6031
焼津本社	
営業所	東京営業所、大阪営業所、名古屋営業所、九州営業所
工場	静岡県内3工場(焼津・団地工場 大東工場 掛川工場)
連結子会社	●マルミフーズ株式会社 資本金 100百万円 当社の議決権比率 100% 主な事業内容 水産物の加工・販売 ●UMIウェルネス株式会社 資本金 50百万円 当社の議決権比率 100% 主な事業内容 健康食品の通信販売

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
株主確定基準日	(1) 定時株主総会議決権行使株主 3月31日 (2) 期末配当金受領株主 3月31日 (3) 中間配当金受領株主 9月30日 (4) その他必要あるとき あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第1部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	(〒168-0063) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号(0120)782-031[フリーダイヤル]
同取次所 公告の方法	三井住友信託銀行株式会社 全国各支店 電子公告 <a href="http://www.yskf.jp/ir/koukoku.html">http://www.yskf.jp/ir/koukoku.html</a> ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株式に関する 各種手続きの お申し出先	(1) 証券会社経由で株式会社証券保管振替機構(ほふり)に株式がある場合 ▶株主様が口座を開設している証券会社 (2) 特別口座に株式がある場合 ▶三井住友信託銀行株式会社 お問い合わせは下記の証券代行部フリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。 フリーダイヤル(0120)782-031(9:00-17:00自動音声案内) ホームページ <a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>

※ 配当金領収証で配当金をお受け取りの株主様は、別紙「配当金口座振込サービスのご案内」をご覧ください。

## ウェブサイトのご案内

当社のことをより深く理解していただくとともに、最新情報をタイムリーに提供することを目的に、IR情報や製品検索、研究開発情報、事業内容などをウェブサイトに掲載しています。ぜひご活用ください。

<http://www.y SKF.jp/>  
トップページ▶



◆YSK働く女性研究所オフィシャルサイト  
<http://www.workingwoman-lab.jp/>

YSK働く女性研究所の詳細と商品がお買い求めいただけます。



◆UMIウェルネスオンラインショップ  
<http://umiwellness.com/>

オンラインショップで当社素材を配合した商品がお買い求めいただけます。



※ トピックスにて、株主優待制度についてご案内しておりますのでご覧ください。

UD  
FONT

